

みんなのほくぶつかん みんぱく

MINPAKU

さる展の、見えざる側面

年末年始展示イベント「さる」

1月26日（火）まで、本館展示場ナビひろばにて開催中

恒例の年末年始展示イベント「さる」展が開催中です。今年の干支「さる」にまつわるみんなぱくの資料を、「さるになるひと」「かみになるさる」「ひとになるさる」の3つのキーワードで紹介します。毎年恒例となったこのイベントは、みんなぱくの教職員の展示活動研修会としての側面ももっています。資料の構成や選択、写真パネルの撮影、展示作業、広報チラシの作成などをおして、博物館の活動をより深く理解することを目的としています。

「部署を越えているいろいろな人と作業ができたことが、いい経験になりました」と語るのは、研修に参加した広報係の細木由美さん。さるが何かを担っている姿が気になって、滋賀の大江絵の絵馬を展示資料に選びました。



展示作業中の細木さん。「お客様の動線や目線を意識しながら、資料の向きや角度を調整して置いていきました」とのこと

いちばん思い出深いのは、デザインにも携わったチラシづくり。3つのキーワードをあらわすいいキャッチコピーがなかなか浮かばず、難航したそう。最後の最後で、メンバーの一人がふと発した「さる、時々ひと ところにより、神」という一言が、決め手となりました。

会期中にはトークイベントやワークショップなども開かれますので、新年はぜひみんなぱくでお過ごしください。